七色の青で観光客を吸収 NEW レインボーライン

光が照らす若狭テラスからの絶景

三方五湖に浮かぶ天空のテラス

嶺南地域最大の観光名所といえばレインボーライン。生徒諸君も一度は訪れたことがあるだろう。そのレインボーラインが三月三十日、リニューアルオープンした。新聞部ではきれいに整備された山頂公園で社長の石田靖彦さんを取材しその魅力に迫った。

レインボーラインとは

塩分濃度の違いで微妙に異なる青色を発する五湖、そして海と空を合わせた七色のブルーが「レインボーライン」の名前の由来。全長二百メートルの山頂を歩いてみると大パノラマの絶景が目に飛び込んでくる。圧倒的な魅力を誇る観光名所だ。

おしゃれなテラス

「おしゃれ・かっこいい」を意識した五つのテラスを新設。石田社長は「コンセプトに合わないものをやめて統一感を出した」と語る。

願いを乗せて投げる

若狭テラス
断崖絶壁に位置する西の展望台から「かわらけ投げ」ができる。

茶屋テラス
和風カフェ「五湖庵」の抹茶や団子がお勧め。

中央テラス
山頂カフェ「なないろ」はおしゃれなメニューが豊富。ウッドデッキからの日本海が壮大。

五湖テラス
街並みや湖を丸いソファに寝転んで眺める最もおしゃれなテラス。

美浜テラス
足湯がある一番人気のテラス。昨年は「クールジャパンアワード」を受賞した。（外国人がかっこいいと感じる日本文化を称える賞）
それぞれに個性的なテラスで『映え』を狙ってみては！これからは雪景色もステキかも。

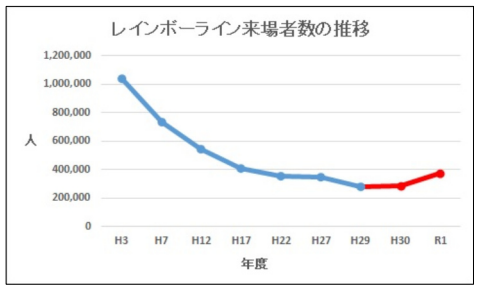
足湯と景色を満喫

情熱的な石田靖彦社長

愛媛県出身で四十年以上全国各地でリゾート事業を手掛けた経験を活かしエリアの活性化を担う。地元の人に愛され郷土の誇りとなる場所を目指す。

過去から現在

昭和四十三年、有料道路が開通。三年後に会社と山頂公園が開業し、長年の地域の願いが叶うことになる。来場者数は平成三年をピークに年間百万人を超えたが、平成二十九年には約二十八万人まで落ち込んだ。県内の他の観光地と比較しても著しく集客が少なく、危機を打開するべく大改革がスタートした。平成三十年に石田社長が就任してから、令和元年のプチリニューアルを経て来場者数は伸びている。しかし、今年のリニューアルオープン直後はコロナの影響を受け、来場者数は四月、五月で対前年比約二十％となった。その後、七月～十一月には県内の観光客や嶺北からの修学旅行客が増え、対前年比百三十八％まで回復した。また、以前は利用者の滞在時間が約十分だったが、今は約一時間半まで伸び、利用者にとって過ごしやすい場所になったことが分かる。



未来への歩み

新幹線敦賀開業やインバウンドに対応するには、三方五湖エリア全体を軽井沢のようなおしゃれな空間にしたいと石田社長は構想する。例えば・・・
◆五湖の周りに複数のステーションを設置し、乗降り自由なレンタサイクルやレンタルボートを置く
◆地球に優しい太陽光パネルの遊覧船
◆遊歩道やサイクリングロードの整備
◆注目されるブライダルスポットにワクワクする構想だ。
そこでエリアの未来予想図を書いてみた。我がふるさとの未来に思いを馳せてみよう。

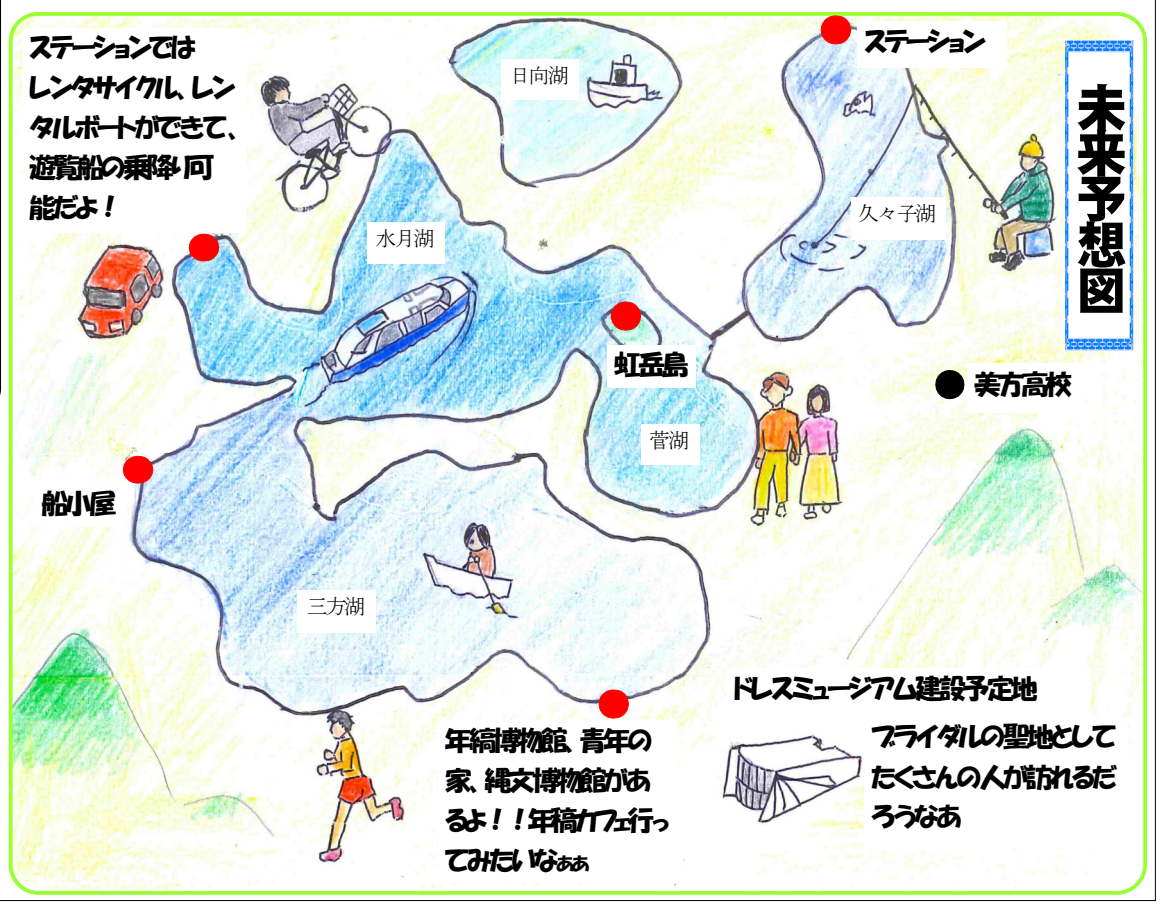
食物科卒業のカフェ店員に取材

一番人気の
にじランチＢＯＸ

カフェには食物科卒の二人の先輩が働いている。山頂カフェ「なないろ」の上田敏未さんは四十二期生。忙しい中、仕事の合間にインタビューに答えてくれた。

Q．観光客は？
A．ゴールデンウィーク頃から休日は行列ができるほど賑わっている。リフトが一時間待ちになる日もある。
Q．ここで働く気分は？
A．最初は景色の良さに興奮した。季節が感じられる良い職場だと思う。
Q．リニューアル前後で変わったことは？
A．これまでは年配のお客様が多かったがファミリーやカップルが増えた。
Q．今後どうなっていきたいか？
A．スタッフ全員で改善できることを考え、お客様にとってより良い場所にしていきたい。
Q．食物科で学んだことは活かされている？
A．厨房で包丁使いなどが活かされている。
他にも高校時代の先生の話など気さくに話してくれた。先輩、ありがとうございました！
そして、昨年度卒業の山本千菜実さんはリフト乗り口のレインボーカフェで働く。調理系の就職先を探していた時に求人票でここを見つけたことがきっかけ。今は料理長の下で仕込み作業を行っている。できることが増えていくことに働きがいを感じているそうだ。

きびきび働く
上田敏未先輩



大自然アドレナリン

恋人の聖地って知ってる？

レインボーライン山頂公園は日本に一三〇ヶ所ある恋人の聖地に選ばれているわよ。プロポーズにふさわしいスポットなんだって。ロマンティックねぇ。「幸せの鐘」があってね、恋人と二人で鐘を鳴らすとすっごいご加護にあやかれるといわれているの。また若狭町には日本で唯一、桂由美さんのドレス工場があってね、注目されるブライダルスポットなのよ。私もいつかきれいなドレスに身を包んで花道を歩きたいわぁ。